



佐藤京一議員

協働のまちづくりの課題をどうすすめていくか

町長 ステップアップのための提言を順次改善します

■協働のまちづくりへの取り組みは

佐藤 町長が、まだ定着していない、課題があると述べている協働のまちづくりに対して、その取り組みの具体的内容と現在の進み具合を伺います。

町長 協働のまちづくりステップアップ委員会からの提言を受け、町民との情報共有面における広報紙の改善やホームページの充実、町民との直接対話面から町政座談会やアンケートの実施、活力ある職員育成面から民間での実地研修などの取り組みを行います。

さらに課長会などで検討して実施可能なものから順次改善していきます。

■「協働」の言葉が消えたのはなぜ

佐藤 町報で21年度の助成事業を募集していますが、「協働」という言葉を消している考え方、意図を伺います。

町長 この事業はもともと「協働」という言葉がない昭和63年に創設されたもので、「協働」という言葉について、難しい、わかりにくいといった町民の声もふまえ、わかりやすい表現に改めたものです。

■地域との行政窓口は

佐藤 地域における要望や課題、まちづくり事業などについては、縦割り行政のなかで不十分な面もあることから、相談や支援の担当窓口を一元化してはどうですか。



まちづくり座談会（萩野地区）

町長 区の担当は総務課の総務係になっており、あえて別につくる必要はないと考えています。相談などについては総務係の方で対応します。縦割り行政のなかでも課長会などを通して連携などをしているながら調整運営に当たっています。

■消防団協力事業所表示制度の推進を

佐藤 消防団活動は本来の使命があるなかで、若者の地域社会参画の一步としての役割も担っているが、会社・企業の理解と協力は必要不可欠です。

勤務時間中の消防団活動への便宜や、従業員の入団促進など、事業所としての消防団への協力を表す「消防団協力事業所表示制度」を町として推進してはどうですか。

町長 協力の意思はあるものの明確に表示することについての意識の違いなどもあるなかで、今後ともお願いをしながら対応していきます。